

植物異物同定用プライマーセット

混入した植物由来異物を遺伝子レベルで同定

本製品は、植物に由来する異物を同定するためのプライマーセットです。現在主流の形態的特徴からの同定とは異なり、DNA塩基配列を用いた、より客観性のある同定方法です。御社の品質管理ツールの一つとしてお使い下さい。



特徴

- ①： 植物に特異的な領域(ITS)を増幅するようにプライマーを設計。
- ②： 植物全般を増幅し、カビ・酵母は増幅しない。
- ③： PCR増幅産物長が約350~400bpと短いため、DNAが加熱等で損傷していても増幅し易い。

内容

商品名	商品コード	容量	価格(税別)
植物異物同定用プライマーセット	F111-1K	30反応分	23,000円

保存方法： -20℃ 有効期限： 製造から24ヶ月

- ◇ ハウス食品グループ本社株式会社のライセンス（特許第4205485号）を受け、株式会社ファスマックが製造販売しています。
- ◇ PCRに必要な酵素やバッファー類、シーケンス解析に必要な試薬類は含まれておりません。



受託検査サービス

本製品を使用した植物由来の異物同定検査を実施しています。サーマルサイクラー、シークエンスンサー等の機材をお持ちでない場合は、弊社の受託サービスを是非ご利用下さい。

料金： 30,000円/検体（税別） 納期： 約2週間

参考文献

正村他: ITS 1塩基配列による植物性異物同定方法の開発
分析化学 63(3), 245-253, 2014

植物異物同定用プライマーセット

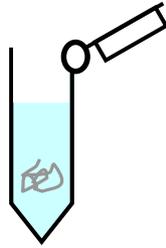
混入した植物由来異物を遺伝子レベルで同定

検査フロー

Step1 : DNA抽出

葉・種など、植物由来異物からDNAを抽出します。

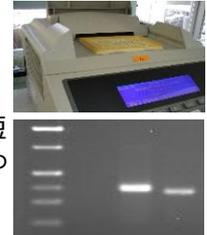
※複数の植物種が混在した異物の場合、検査不能となります。



Step2 : PCR

指定の反応液組成、サイクル数でPCRをかけます。

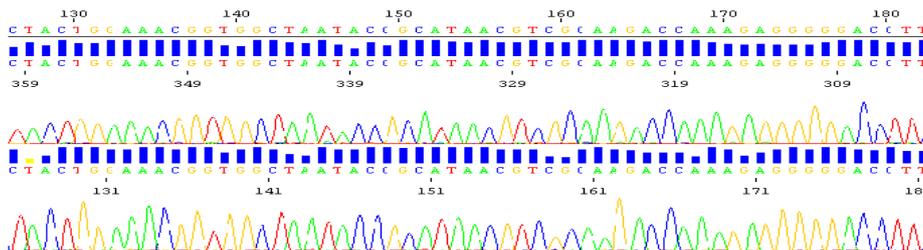
バンドサイズは約350~400bpと短いため、加熱等でDNAに損傷があっても、増幅し易くなっています。



Step3 : シークエンス

シーケンサーで増幅バンドの塩基配列を読み取ります。

ファスマックでは、シーケンス以降の受託サービスも行っています。シーケンサーをお持ちでない場合は、ご相談下さい。



Step4 : 公共データベースを使用して解析

DDBJ、NCBIなどの公共データベースから異物を同定します。

※下表は、大豆をサンプルとした検証結果。上位5つ全てがダイズ属(Glycine)

サンプル	Sequence Entry	Accession No	%
大豆 (学名 : Glycine max) 	Glycine max 18S ribosomal RNA gene, partial sequence;	FJ609734	100
	Glycine max cultivar Hwangkeum 18S ribosomal RNA gene, partial sequence	EU118312	100
	Glycine soja cultivar IT182932 18S ribosomal RNA ene.partial sequence	EU118313	100
	Glycine max voucher PS1684MT01 18S ribosomal RNA gene, partial sequence	FJ980442	100
	Glycine max isolate 48Hidatsa internal transcribed spacer 1, partial sequence	AF144654	99.47

株式会社ファスマック

本社 : 〒243-0041 神奈川県 厚木市 緑ヶ丘5-1-3

TEL : 046-295-8787 FAX : 046-294-3738

E-mail : gmo@fasmac.co.jp

WEB : <http://www.fasmac.co.jp>

販売代理店